

- 問1 1776年に独立を宣言し、その後、近代民主主義のモデルとなった国を何という？
- 問2 江戸時代後期、幕府の命を受けて日本全国を測量し、正確な地図の作成に尽力した人物は誰？
- 問3 江戸時代前期の上方を中心に栄えた、井原西鶴らが活躍した文学の時代様式を何という？
- 問4 天保の改革において、物価の上昇を抑えるために株仲間を解散させた老中は誰？
- 問5 江戸時代、幕府が農村を支配するために、数軒の家を一つにして犯罪防止や年貢納入を連帯して負わせた制度を何という？
- 問6 寛政の改革を行い、農村復興などを進めた老中は誰？
- 問7 徳川家光の時代、キリスト教の禁止を徹底するため1639年に来航を禁止した船を何という？
- 問8 アユタヤの日本人町で活躍し、現地の王室とも深い関係を築いたことで知られる日本人は誰？
- 問9 江戸時代、諸藩が年貢米や特産物を保管・販売するために、全国の物流拠点である現在の大阪に設置した施設を何という？
- 問10 関ヶ原の戦い以前から徳川氏に従っていた大名を何という？
- 問11 江戸時代中期、特産物の生産奨励や専売制の導入などで財政再建を試みた老中は誰？
- 問12 徳川家康が奨励した、東南アジアとの間で行われた貿易体制を何という？
- 問13 元禄文化が花開いた当時の将軍で、文治政治をすすめた人物は誰？
- 問14 江戸時代、物資の売買や賃金の支払いに金や銀、銅銭が使われるようになった経済のあり方を何という？
- 問15 産業革命を経て工業力が飛躍的に高まり、イギリスが自称あるいは他称された呼び名を何という？
- 問16 豊臣秀吉が、全国の土地の生産力を米の量で表すために行った政策を何という？
- 問17 江戸幕府が整備した、江戸を起点として全国へ伸びる主要な5つの陸路を何という？
- 問18 江戸時代後半、大規模な飢饉に備えて農村に米を蓄えさせた制度を何という？
- 問19 江戸時代前期、上方を中心に栄えた、町人が担い手となった華やかな文化を何という？
- 問20 1774年、オランダ語の解剖学書を翻訳し『解体新書』を出版した中心人物の一人は誰？
- 問21 江戸時代の農業で、米以外の換金目的で栽培された作物のことを総称して何という？
- 問22 人間は生まれながらにして自由で平等な権利を持つという考えの基礎となり、国民が国の政治を動かすという原理を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は、独立戦争の勝利を経て誕生しました。世界初の近代市民憲法を持ち、三権分立を採用した民主的な国家として運営されました。この独立運動は、イギリスの名誉革命やフランス革命と並び、世界史における「近代市民革命」の一つと位置づけられています。
問2	答え 伊能忠敬	伊能忠敬は、50歳を過ぎてから天文学を学び、幕府の命を受けて全国各地へ赴きました。西洋の測量技術を取り入れ、長年にわたり徒歩で日本各地の海岸線を測量し続けました。その執念と正確な計算により、近代的な測量に基づく地図づくりを成し遂げました。
問3	答え 元禄文化	：元禄文化は、武士の形式的な文化から離れ、商人たちの活力を反映した芸術文化です。文学では井原西鶴の浮世草子、松尾芭蕉の俳諧、近松門左衛門の人形浄瑠璃などが頂点を極めました。
問4	答え 水野忠邦	水野忠邦は、物価が高騰する原因が商人たちの独占にあると考え、株仲間を解散させる政策を行いました。しかし、流通の仕組みが崩れてしまったため、かえって経済は混乱し、改革は不十分な結果に終わりました。
問5	答え 五人組	五人組は、村内の数軒の農家をひとつのグループとして編成した組織です。年貢を確実に納めさせたり、犯罪やキリスト教の信仰を防いだりするために、グループ内で連帯責任を負わせました。もし一人が罪を犯せば、連帯責任でグループ全員が処罰の対象となりました。
問6	答え 松平定信	松平定信は、老中として「寛政の改革」を実施しました。彼は、飢饉で荒廃した農村に農民を戻す「旧里帰農令」を出したり、窮民を救うための備蓄制度を整えたりと、社会不安の解消を図りました。質素儉約を奨励し、厳しい規律のなかで政治の刷新を目指しました。
問7	答え ポルトガル船	布教とセットで日本に來航していたポルトガル商船は、幕府の警戒の対象となりました。1637年に島原の乱が起きたこともあり、1639年に幕府はポルトガル船の來航を完全に禁止しました。これにより鎖国体制が決定的なものとなりました。
問8	答え 山田長政	山田長政は、アユタヤに渡って貿易で成功し、現地の王室の信頼を得て軍事的な地位まで昇りました。当時の日本人町のリーダーとして、外交や軍事で重要な役割を果たしました。
問9	答え 蔵屋敷	蔵屋敷は、各藩が年貢米を保管し、米問屋を通じて売却するために設けられた施設です。ここには藩の役人が常駐し、物資の集積や販売を行うとともに、藩の財政を支える窓口としての役割を果たしました。
問10	答え 譜代大名	譜代大名は、家康の古くからの家臣団であり、江戸幕府において老中などの重要な役職を独占しました。一方、関ヶ原の戦いで降に従った大名は「外様大名」と呼ばれ、重要な領地から遠ざけられるなど厳しい管理下に置かれました。
問11	答え 田沼意次	田沼意次は老中として、商品経済の発展に注目した改革を行いました。株仲間の結成を許可して税金をとったり、専売制を導入して幕府の収入を増やそうとしました。また、長崎貿易を拡大するなど、積極的な経済活性化策をとりました。
問12	答え 朱印船貿易	徳川家康は、幕府が発行する「朱印状」という許可証を持った商船に海外へ渡航させる朱印船貿易を奨励しました。日本からは銀や工芸品が輸出され、東南アジアからは生糸や薬品などが輸入されました。
問13	答え 徳川綱吉	第5代将軍として、自らも儒学の講義を行うなど学問を深く奨励しました。また、綱吉の時代には経済も安定し、華やかで人間味豊かな文化が栄える基盤が作られました。一方で、「生類憐れみの令」でもよく知られる将軍です。
問14	答え 貨幣経済	それまでの米を基準とした物納中心の社会から、金・銀・銭という貨幣が広く流通する社会へと変化しました。これにより、商人が力を持つようになり、都市の町人文化が発展しました。日常の買い物も貨幣で行われるようになり、私たちの現在の生活に近い経済活動が始まりました。
問15	答え 世界の工場	イギリス製の機械製品や綿製品が世界中に輸出されたため、当時のイギリスは「世界の工場」と呼ばれました。その強大な工業力は万国博覧会などで世界中に誇示され、国際経済の主導権を握ることとなりました。
問16	答え 検地	豊臣秀吉は全国で「太閤検地」を行い、土地ごとの広さや生産力を米の量（石高）で客観的に評価しました。これにより、誰からどれだけ年貢を徴収すべきかが明確になりました。
問17	答え 五街道	江戸幕府は、東海道、中山道、日光街道、奥州街道、甲州街道の五つの主要街道を「五街道」として整備しました。これらは幕府の直轄として厳重に管理され、大名が江戸と自領を往復する「参勤交代」のために利用されたほか、商人や旅人の往来も活発になりました。
問18	答え 天明の飢饉	天明の飢饉は、浅間山の噴火や長雨による冷夏が重なり、全国的に深刻な食糧不足を引き起こした大災害です。この惨状を目の当たりにした幕府は、当時の社会不安を解消するため、農村の再建を急務と考えました。
問19	答え 元禄文化	この文化は、京都や大坂などの上方を中心に発展しました。文学では井原西鶴が浮世草子を書き、近松門左衛門が人形浄瑠璃の脚本を手がけました。また、絵画では菱川師宣の浮世絵や、尾形光琳の華やかな工芸品が生まれました。
問20	答え 杉田玄白	杉田玄白は、前野良沢らと協力して、オランダの解剖学書『ターヘル・アナトミア』を苦勞の末に翻訳し、『解体新書』として出版しました。人体の構造が詳細に描かれたこの本は、当時の人々に西洋医学の正しさを伝えました。
問21	答え 綿花	綿花、菜種、タバコなどの商品作物は、米よりも利益率が高く、各地の気候に合わせて栽培が奨励されました。これらの作物は、加工業や地域の特産品としても発展しました。
問22	答え 国民主権	国民主権は、国家の意思や権力の源泉が国民にあるという考え方です。フランス革命やアメリカ独立革命を経て、この原理が憲法に組み込まれることで、近代的な民主主義の枠組みが完成しました。